

宇宙ロケット関連ニュース

2026-2-7
京都市 福原浩一

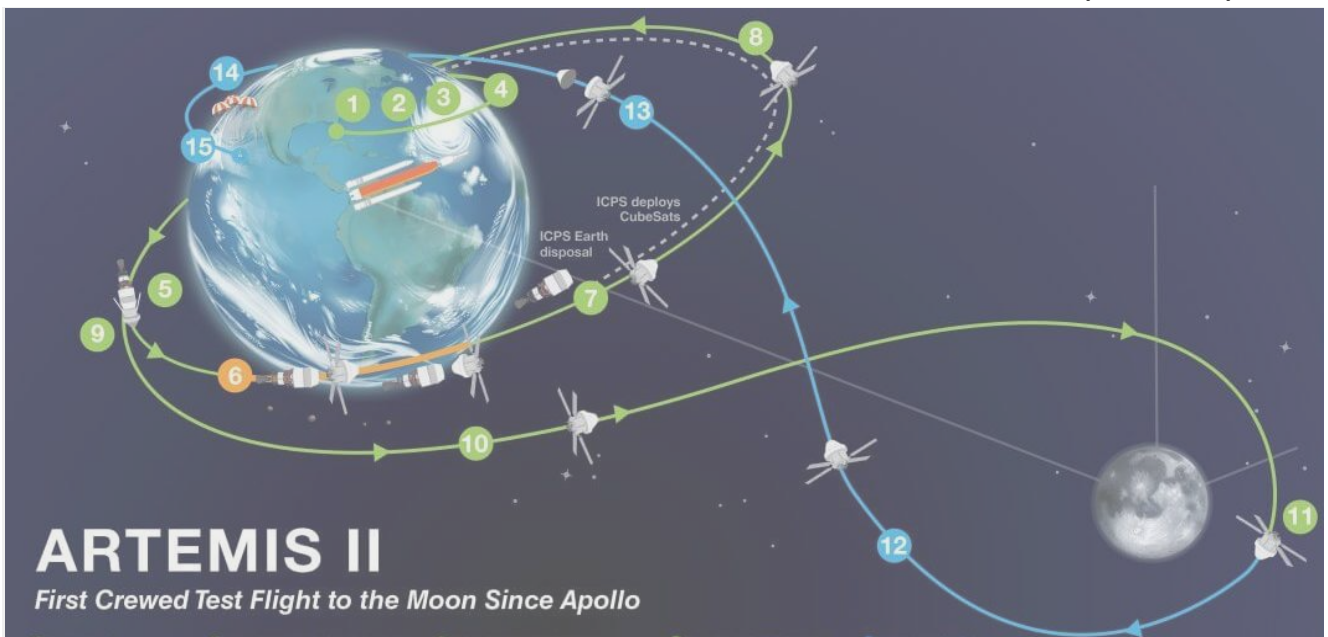
直近、わたしが注目している宇宙ロケット関連ニュースを 4 件紹介します。

NASA アルテミス II :

早ければ今月中に実施される予定の月周回ミッションでしたが、リハーサルで液体水素漏洩が発生し、打ち上げは 3 月以降に延期されることになりました。今回は、1972 年に終了したアポロ月着陸以来、約半世紀ぶりの月周回となります。

今回ミッションの流れ ↓ (NASA 資料を抜粋)

① SLS ロケット打ち上げ → ② ~ ⑤ Orion 宇宙船を地球周回の楕円軌道に投入 → ⑥ 宇宙船を分離し、上段をターゲットとしたランデブーやドッキング訓練 → ⑦ 月へ向かうための主エンジン噴射 → ⑧ 宇宙船は、地球と月を囲む細長い 8 の字型の軌道を描くように飛行 → ⑨ 月の裏側を周回 → ⑩ ~ ⑮ 地球に向い、大気圏に再突入して帰還 (約 10 日間)



日本のロケット :

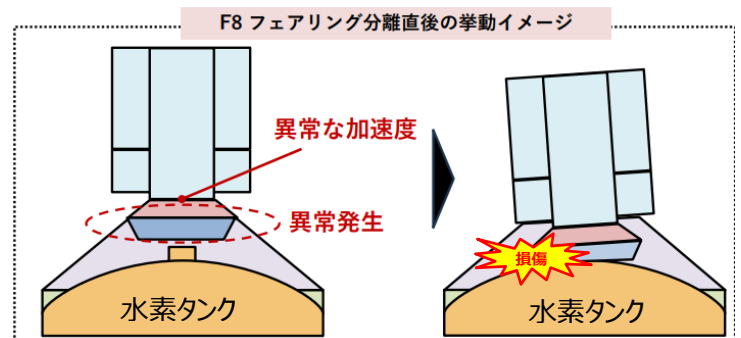
① カイロストケット 3号機

カイロロケット 3号機打ち上げが、スペースワン(株)より、民間小型ロケット射場「スペースポート紀伊」から 2月 25日 (水) 11:00 ~ 11:20 分に行われると発表されました。1号機では、打ち上げ直後に自爆装置が起動され失敗し、2号機では、1段ロケットが上昇中に蛇行し、軌道を外れて失敗しています。3度目の正直となるか。

② H3 ロケット 8号機

昨年 12月 22日に打ち上げ、1段目燃焼中のフェアリング分離時に問題事象が発生し、2段目第2回燃焼が短時間で終了、みちびき 5号機の投入に失敗しました。この事故原因究明と対策を検討中の JAXA H3 プロジェクトチームより、調査状況の報告が出ています。

超要約 : フェアリング分離開始直後に、何らかの異常(損傷)が衛星搭載構造に発生したため、2段目下部の水素タンクまで損傷し、衛星が落下するとともに、内圧が抜けてしまった。今後、異常の原因を FTA(故障木分析)にて設定し、検証や再現等で追及する。



③ イプシロン S 開発

新型 2段目燃焼テストで大爆発し、再検証中だが、2段目を前型イプシロン製に変更する答申を行い、2026年度中に実機テストし、再打ち上げを目指す。